

金曜ウォーク@宇部

上関原発はいらない！原発ゼロへ！

2021/07/09 (金) 467 回 since 2012.08.12

資料と意見 No.007 発行：いのち・未来うべ

◎上関原発は、いらない！田ノ浦の現地へ行こう！

小中進さんオフィシャルサイト ⇒ <http://blog.konaka.sunnyday.jp/>

◎オンライン署名の呼びかけ 祝島島民の会から

~~~~~



<https://bit.ly/3wn1FCY>

発信者：上関原発を建てさせない祝島島民の会

宛先：経済産業省・資源エネルギー庁

署名プラットフォーム Change.org

(裏面に全文)

いのち・未来うべ

会員を募集中です

私たちは、原発のない社会を求める市民グループです。2011年3月11日の福島原発過酷事故の1年後、2012年3月18日に宇部市で開催された「小出裕章さんのお話を聴く会」が母体です。ストップ上関原発！地域から声をともにあげましょう。

○金曜ウォーク 毎週金曜日午後6時 宇部市役所前に集合、情報交換とアピール。

連絡先：〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36 宇部市民活動センター「青空」

いのち・未来うべ 電話 080-6331-0960 (安藤公門)

## 【上関原発を建てさせない祝島島民の会の WEB 署名の呼びかけ】

みなさんは現在、国内に原発を新設する計画があることをご存知でしょうか？

山口県の上関町で中国電力によって計画されている上関原発計画です。

中国電力・上関原発計画は 1982 年に計画が持ち上がりましたが、地元の根強い反対運動によって阻まれ建設はいまだ実現されていません。2009 年からは建設予定地の田ノ浦での埋め立て作業が強行されようとしていましたが、2011 年 3.11 の原発震災発生を期に計画は凍結されました。

しかし、中国電力はそれから数地内のボーリング調査や道路・トンネルの整備をすすめ、2019 年からは埋め立て予定海域の海上ボーリング調査にも乗り出しました。

それに対し対岸の祝島の漁民は抗議の意を込めて海域に漁船を出して操業、中国電力は結果として準備作業に入れず海上ボーリング調査は手つかずのまま中止となりました。2020 年にも同様の経過をたどり、今年も 2021. 7. 7～10. 6 の 3 ヶ月間予定地海域の占用許可を申請し、海上ボーリング調査を行なおうとしています。※田ノ浦海域での祝島漁船による出漁は許可漁業・自由漁業にあたり、法的権利に基づく操業です。

## エネルギー基本計画に「原発の新增設」 を明記させないで！

現在、国のエネルギー基本計画には原発の新增設は明記されていません。つまり上関原発計画には政策としての根拠が存在しておらず、それにもかかわらず中国電力は建設の準備作業を着々と進めながら国のゴーサインを待っている状況なのです。

東京電力福島第一原発の破局事故によって国民の意識は脱原発にシフトし、現段階では原発の新增設について明文化できない状況にあり、このことが上関原発建設の再開にブレーキをかけています。2021 年現在、国内で維持されている新設計画は上関原発だけです。今年策定される第 6 次エネルギー基本計画にも新增設の文言を明記させないことで、国内の新規原発建設の芽を摘み、日本の脱原発実現につなげていきたいと考えています。

国内では福島のメルトダウンから 10 年を過ぎ、悲惨な事故の記憶がうすれ行くのを背景に既存原発の再稼働が進められています。「日本の原発は安心です」という大きな幻想が崩れた今、これ以上未来に禍根を残す存在をながえさせるべきではないと考えます。

## 世界の潮流は脱原発

ドイツでは福島の事故を受けて脱原発・再生可能エネルギーに舵を切り、2022 年には脱原発実現の見通しとされています。当事者である日本はいったいつまでこの状況に留まっているつもりなのでしょうか。

## 原子力発電は巨大利権

昨今、国内で起こるさまざまな問題は、決まって利権がからんでいることに気づきます。原発をなくすことは、大きな利権を貪る構造的問題を社会からなくしていくことにもつながると考えます。

## 私たちの願いは、原発のないままの海 です

私たちの暮らす祝島は、予定地・田ノ浦からわずか 4 km に位置しています。祝島島民の会は 1982 年以来、39 年間にわたって上関原発建設に反対してきました。祝島の島民は人生の長い時間を投げうって原発建設を阻止し、この海を守ってきました。高齢化の進む祝島住民を反対運動から解放し、地域の分断をなくしたいという思いも私たちには強くあります。「原発問題のなかった 40 年前のような島を取り戻したい」という声を原発白紙撤回によって実現させたいのです。

上関の海は「奇跡の海」と呼ばれるほど透明度が高く、予定地田ノ浦の海域には稀少な生物が多く息づいています。この美しい海を埋め立て、温排水によって生態系を破壊し、周辺住民を事故の危険にさらし、処理できない核廃棄物を生み出す原発を建設することは許されることではありません。

私たちは、毎日対岸の田ノ浦を眺めて暮らしています。そして変わらない風景と安心して暮らせる毎日を望んでいます。どうかみなさんの力をお貸してください。

上関原発建設計画を阻止するために、第 6 次エネルギー基本計画に「原発の新增設」を明記しないよう求める署名活動にご協力お願いいたします。

わたしたちは、原発の新增設に反対しています。経済産業省・資源エネルギー庁は国民の意思を汲み、第 6 次エネルギー基本計画に原発の新增設を明記せず脱原発の実現に努力してください。（2021 年 7 月 8 日）